

**Logitec**

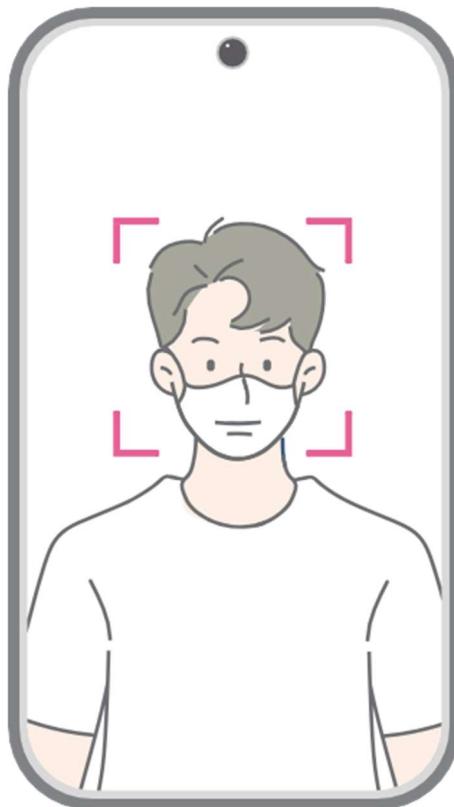
顔認証搭載AIサーマルカメラ

ユーザーズマニュアル

## Alchera-ACS

LTC-T80TS/ LTC-T80FS

LTC-LT80WTSD/ LTC-LT80WFSD



この取扱説明書は、ロジテックINAソリューションズ株式会社製のLTC-T80/LTC-LT80シリーズのセットアップおよび使用方法についての取扱説明書です。

本取扱説明書は大切に保管して下さい。

製品のバージョン変更によって、取扱説明書内の挿絵及び端末画面の写真が実際の製品と異なる場合があります。また、この取扱説明書にて提供する情報は、事前の告知なく変更される場合があります。

製品に関するアップデート情報はロジテックINAソリューションズ株式会社までお問い合わせ下さい。

## 会社情報

社名：ロジテックINAソリューションズ株式会社

本社所在地：長野県伊那市美篶8268番地1000

Webサイト：<https://www.logitec.co.jp/>

## 著作権

この取扱説明書に含まれる全てのコンテンツ及び挿絵、端末画面写真の著作権及び知的財産権はロジテックINAソリューションズ株式会社に帰属します。

ロジテックINAソリューションズ株式会社による事前の書面による承認が無くこの取扱説明書を無断で使用、複製、流通及び配布する行為は知的財産権の侵害となり厳格に禁じます。

# 目次

1	製品使用時の注意事項	6
2	製品の概要	8
2.1	製品について	8
2.2	製品タイプ	8
2.3	製品構成	9
	共通	9
	高さ調整スタンド・スタンド台(床置タイプ)	10
	テーブルスタンド台(テーブルタイプ)	10
2.4	各部の名称	11
	端末本体正面	11
	高さ調整スタンド 背面	12
	テーブルスタンド台 背面	12
2.5	画面角度・スタンド高さの調整方法	13
	画面角度の調節	13
	スタンド高さ調整	13
3	組立方法	14
3.1	高さ調整スタンドタイプ(床置タイプ)の組立方法	14
3.2	テーブルスタンドタイプの組立方法	17
4	開始する	19
4.1	管理用ソフトウェアについて	19
4.2	端末へのログイン	20
4.3	ナビゲーションバーの使用方法	20
4.4	熱検知アプリの実行	21
4.5	表示言語の変更	22
4.6	待機画面の種類	23

5	端末運用モードの概要	24
5.1	顔認証モード	24
5.2	防疫モード	24
6	端末設定	25
6.1	ネットワーク接続	25
	補足：静的IPアドレスの設定	26
6.2	設定メニュー	28
6.3	端末設定	29
6.4	端末運用モード	31
6.5	ゲート/警告灯連動	33
7	ユーザー管理	35
7.1	端末でのユーザー登録	35
7.2	PCでのユーザー登録	36
	個別登録	36
	一括登録	38
7.3	ユーザーの削除と修正	43
7.4	組織情報の設定	43
8	端末の管理	45
8.1	端末のIPアドレスの確認	45
8.2	管理者ページへの接続	45
8.3	管理者ページの使用方法	46
8.4	ホーム画面	47
8.5	端末管理（端末の追加登録）	47
8.6	アクセス履歴の確認	51
	アクセス履歴の保存	51
8.7	ソフトウェア（Alchera-ACS）のアップデート	52

8.8	バックアップおよび復元	53
8.9	初期化	53
9	パスワードによる入退	54
10	管理者アプリの使用方法	55
10.1	管理者アプリのインストール	55
10.2	ログイン	56
10.3	ホーム画面の構成	57
10.4	端末の追加登録	63
10.5	端末情報の修正および削除	64
10.6	ユーザー登録	64
11	お取り扱い上の注意	65
12	サポート・修理窓口のご案内	73
付録A	製品仕様	75
付録B	製品サイズ	76
付録C	ケーブル・ポート	78
付録D	プリインストールアプリ一覧	79

# 1 製品使用時の注意事項

本製品を安全にご使用いただくために、以下の注意事項を必ずお読みになり、指示に従って製品をご利用下さい。

- 本製品は室内用としてのみお使い下さい。
- 製品が倒れないよう、安全な場所に設置して下さい。
- 製品を設置する際には、製品を安全な場所に設置できたことを確認してから、指定の箇所に電源ケーブルを接続して下さい。
- 本製品は赤外線熱検知測定方式を採用しているため、測定精度に影響を及ぼすような次の設置場所を避けて下さい。
  - ・製品本体の画面に直射日光や、エアコン、暖房機などの熱が直接あたる場所。
  - ・製品本体の画面に直射日光や、照明などの直射光があたる場所。
- 過度な湿気を避け、製品内部に水などの液体や異物が入らないように注意して下さい。
- 製品を分解したり、衝撃を与えないで下さい。製品を分解された場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続したケーブルに無理な力を加えないで下さい。ケーブル接続部が緩くなったり断線する可能性があります。
- ボタンまたは画面に無理に力を加えたり、先の尖った道具などで力を加えないで下さい。ボタンまたは画面の破損の原因になります。USBマウスなどの操作も可能です。ご検討下さい。

- ・ 製品や画面の汚れを取る場合は、アルコールなどの化学物質や洗剤を使用せず、柔らかい布でやさしく拭き取って下さい。
- ・ 製品が正常な動作を行うために、電源投入後、30分経過後に使用を開始して下さい。
- ・ 正確な温度測定のため、画面に表示される顔のガイドラインに合わせてからチェックして下さい。
- ・ 季節ごとの室外温度によって測定温度の精度に影響を及ぼす可能性があるため、特に夏場や冬場に外出から戻った際には、一定時間(3~5分)経過してから測定して下さい。
- ・ 製品から異臭や煙が発生、あるいは製品の異常な動作（動画・音声の再生など）が生じた際には、すぐにコンセントからACアダプタを抜いて下さい。  
感電、火災の原因になります。
- ・ 製品に同梱されたACアダプタ以外は使用しないで下さい。同梱されたACアダプタ以外を使用した場合、故障、感電、火災の原因になります。
- ・ 端末内のソフトウェアやファイルを削除しないで下さい。端末が正常に動作しなくなる場合があります。
- ・ 製品の故障が疑われる場合は購入先の販売店へお問合せ下さい。

## 2 製品の概要

### 2.1 製品について

熱検知端末 LTC-T80/LT80シリーズは、熱やマスク未着用の検知と顔認証を、  
非接触・同時・高速・高精度に行なうタブレット型の装置です。

※ 本製品は医療機器ではありません。  
病気の予防や診断のための体温測定には医療用体温計をご使用下さい。

### 2.2 製品タイプ

スタンドのタイプが異なる、二種類の製品ラインナップがあります。



高さ調整スタンドタイプ(床置タイプ)



テーブルスタンドタイプ

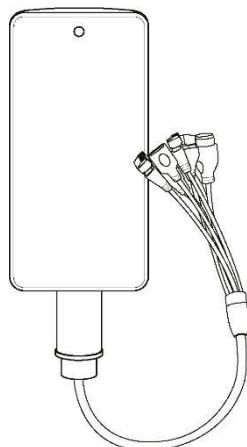


#### 参考

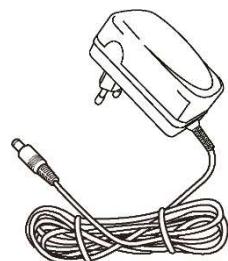
- ・高さ調節スタンドタイプ(床置タイプ)の製品の組み立て方法は、14ページ「3.1 高さ調整スタンドタイプ(床置タイプ)の組立方法」を参照して下さい。
- ・テーブルスタンドタイプの製品の組み立て方法は、17ページ「3.2 テーブルスタンドタイプの組立方法」を参照して下さい。

## 2.3 製品構成

### 共通



端末本体



ACアダプタ



端末固定リング



セットアップガイド



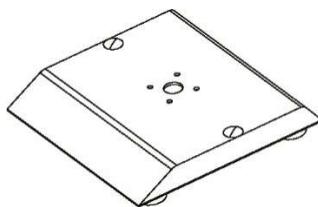
#### 参考

製品構成は、製品の性能や品質向上のために予告なく変更となる場合があります。

## 高さ調整スタンド・スタンド台(床置タイプ)



高さ調節  
スタンド



高さ調節スタンド台



アンカー 2個 \*1



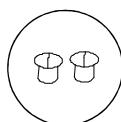
固定ねじ(大)  
4個



足付きねじ  
4個



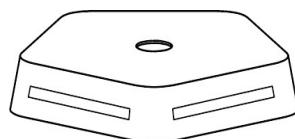
ねじ(小)  
(スタンド上部  
キャップ用)  
4個



キャップ  
2個

\*1 : コンクリート床への固定が必要な場合、高さ調整スタンド台のキャップ穴を通して使用します。  
実際の施工については専門業者等にご依頼下さい。

## テーブルスタンド台(テーブルタイプ)



テーブルスタンド台



足付きねじ 5個



ねじ 5個



六角レンチ

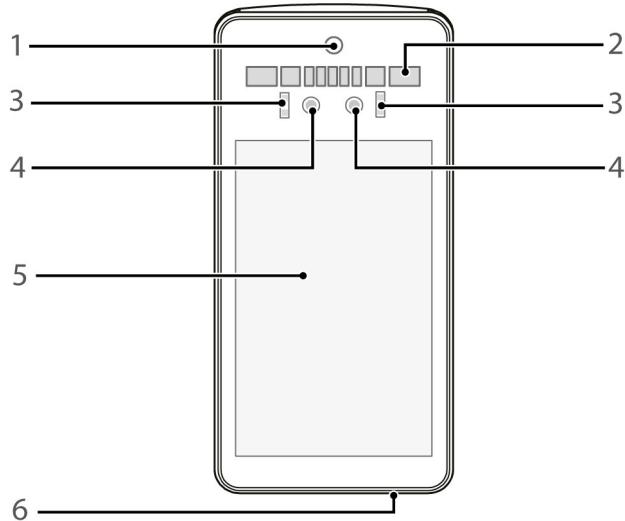


参考

- 本製品の組み立てにはプラスドライバーが必要になります。
- ねじ類は、スタンド等に取り付けられた状態または包装して同梱しています。
- 製品構成は、製品の性能や品質向上のために予告なく変更となる場合があります。

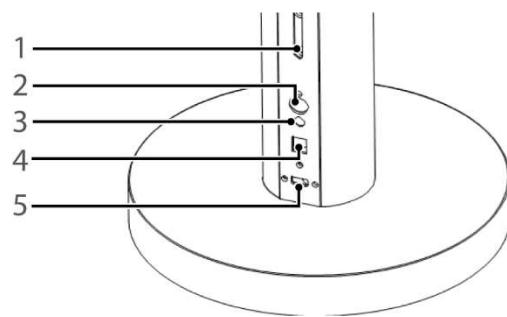
## 2.4 各部の名称

### 端末本体正面



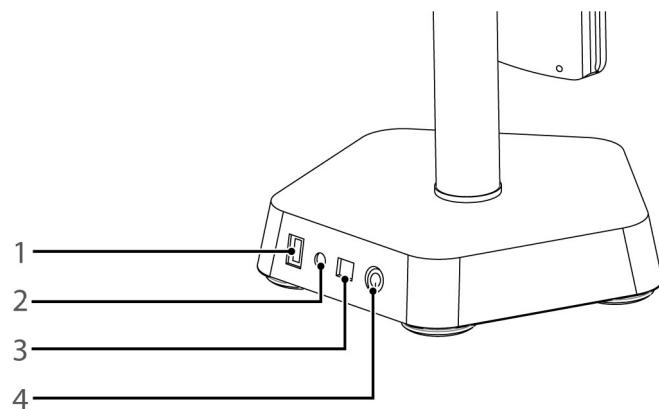
- 1 赤外線熱検知センサー
- 2 状態表示LED
  - 白：温度測定および顔認証中
  - 緑：結果正常
  - 赤：温度が設定値以上、マスク未着用、および顔認証NGを検知
- 3 赤外線LED
- 4 赤外線/RGBカメラ
- 5 8インチ タッチスクリーン
- 6 スピーカー

## 高さ調整スタンド 背面



- 1 高さ調節ねじ
- 2 電源スイッチ
- 3 電源コネクタ
- 4 LANポート(RJ45)
- 5 USBポート

## テーブルスタンド台 背面



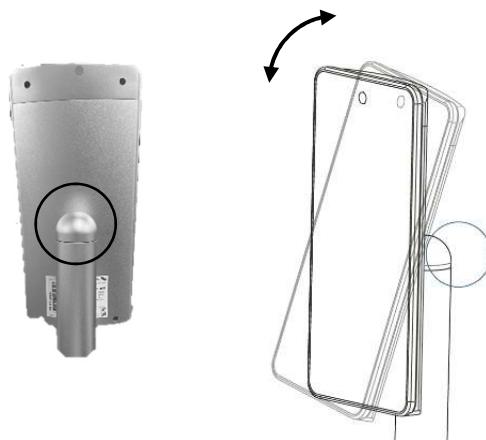
- 1 USBポート
- 2 電源コネクタ
- 3 LANポート(RJ45)
- 4 電源スイッチ

## 2.5 画面角度・スタンド高さの調整方法

### 画面角度の調節

端末画面の角度調整の方法は、以下の通りです。

- 1** 端末背面のポール上部のカバーを、左回り(反時計回り)に回して緩めます。
- 2** 画面角度を調節した後、右回り(時計回り)に回してしっかりと締めます。

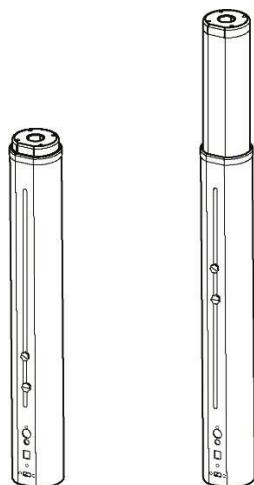


### スタンド高さ調整

高さ調節は、高さ調整スタンドタイプ(床置タイプ)の製品のみで可能です。

高さ調整の方法は、以下の通りです。

- 1** 高さ調整ねじ2個を左回り(反時計回り)に回して緩めます。
- 2** 高さを調節した後、高さ調整ねじ2個を右回り(時計回り)に回してしっかりと締めます。



### 3 組立方法

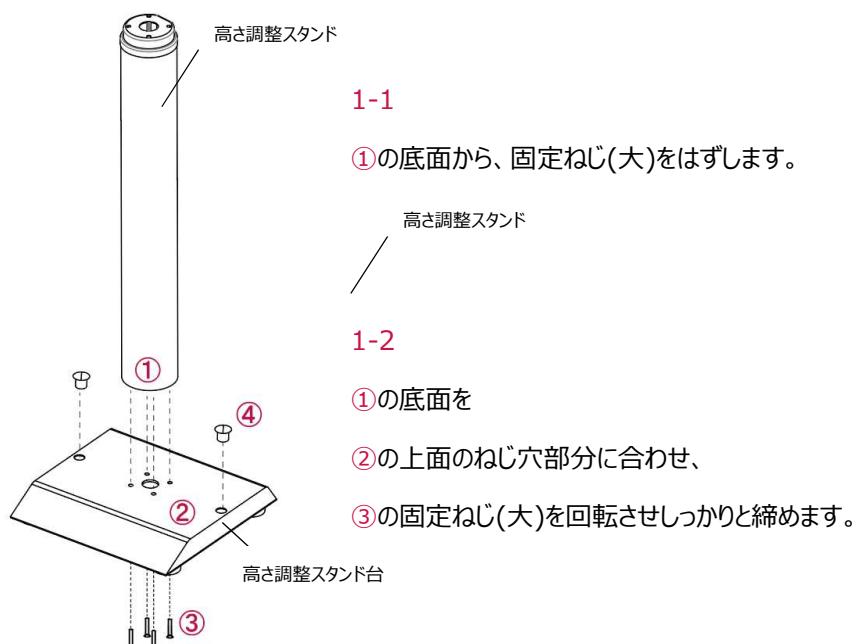
- 手袋などをして、鋼板の切り口や角で手をケガしないよう十分気を付けて作業をして下さい。
- 安全を考えて2人で作業し、不安定な場所での作業、不安定な場所への設置は避けて下さい。



#### 3.1 高さ調整スタンドタイプ(床置タイプ)の組立方法

1 高さ調整スタンドとスタンド台を、以下を参照して組立てます。

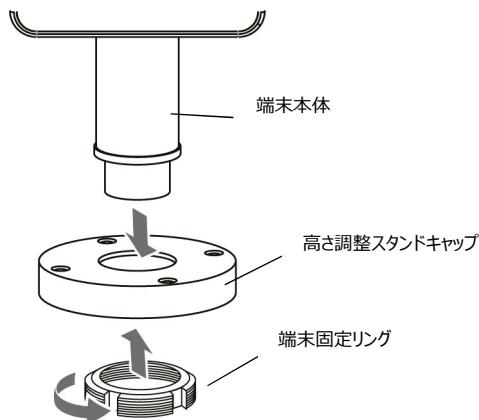
※スタンド台は勾配が緩い方を前面にして、スタンドのインターフェイスが背面になるように組み立てて下さい。



- 2** 端末の支柱下部のねじ部から端末固定リングを回してはずし、端末のケーブルから抜き取ります。
- 3** スタンド上部にあるスタンド軸キャップのねじを緩め、スタンド軸キャップをはずします。
- 4** 端末のケーブルを、スタンド軸キャップと端末固定リングに下記の順に通します。



- 5** 端末固定リングを、右回り(時計回り)に回して固定します。
  - リングを固定する際、端末の向きを確認して下さい。端末正面の向きをスタンド軸のLEDのある面(正面)と合わせる必要があります。



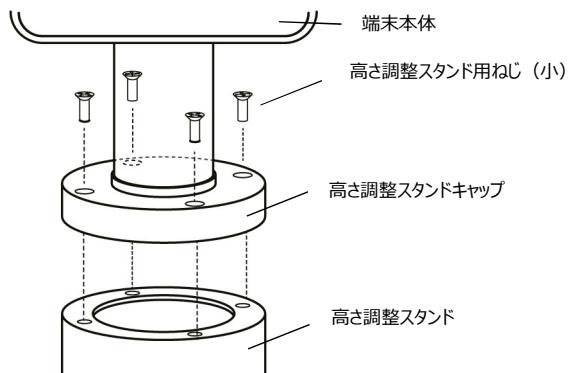
**6** 端末のケーブルをスタンド軸上部のケーブルに、下図の通りに接続します。

- ケーブル・ポートの詳細については、78ページ「付録C ケーブル・ポート」を参照して下さい。



※USB2.0コネクタは「黄色のコネクタ」へ接続して下さい。

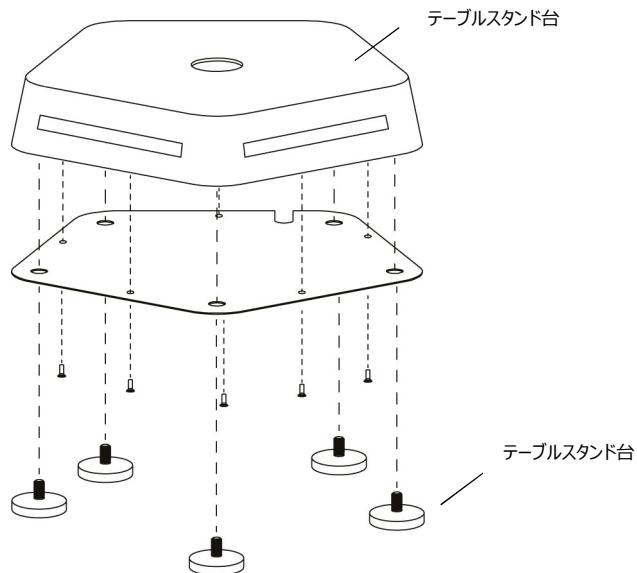
**7** 端末が取り付けられたスタンド軸キャップとスタンド軸を、ねじで固定します。



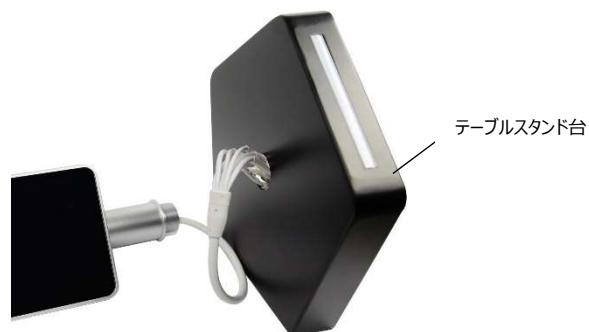
※本製品設置後にがたつきがある場合は、足つきネジを回して水平バランスを調整して下さい。

### 3.2 テーブルスタンドタイプの組立方法

- 1 足付きねじ(5個)とねじ(5個)を左回り(反時計回り)に回して、  
スタンド底面カバーをスタンド台から取り外します。



- 2 端末の支柱下部のねじ部から端末固定リングを回してはずし、  
端末のケーブルから抜き取ります。
- 3 端末のケーブルをスタンド台の穴に通します。

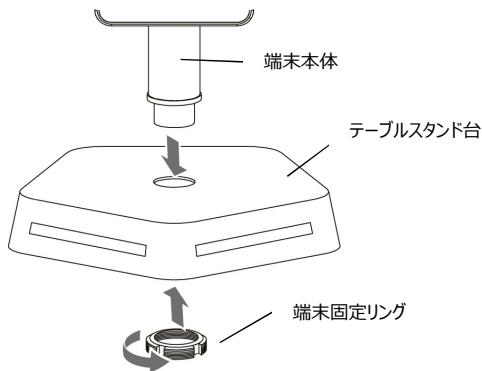


- 4 端末のケーブルを端末固定リングに通します。



**5** 端末固定リングを、右回り(時計回り)に回して固定します。

- ・ リングを固定する際、端末の向きを確認して下さい。端末正面の向きをスタンドのLEDのある面(正面)と合わせる必要があります。



**6** 端末のケーブルをスタンドのケーブルに、下図の通りに接続します。

- ・ ケーブル・ポートの詳細については、78ページ「付録C ケーブル・ポート」を参照して下さい。



※USB2.0コネクタは「黄色のコネクタ」へ接続して下さい。

**7** スタンド底面カバーを、ねじ位置を合わせた後、足付きねじ(5個)とねじ(5個)を右回り(時計回り)に回してしっかりと固定します。

※スタンド台はLEDを前面にし、インターフェイスが背面になるように組み立てて下さい。

※本製品設置後にがたつきがある場合は、足つきネジを回して水平バランスを調整して下さい。

# 4 開始する

## 4.1 管理用ソフトウェアについて

PCを利用して端末を管理する場合は、WEBブラウザで端末の管理者ページに接続することができます。個別の管理用ソフトウェアは必要ありません。



参考

- ウェブブラウザは、クローム(Chrome)ベースのウェブブラウザを推奨します。  
例 : Google Chrome、Microsoft Edge、など
- 管理者ページ接続の詳細については、45ページ「8.2 管理者ページへの接続」を参照して下さい。

モバイル機器を利用して管理する場合は、専用の管理者アプリをインストールして使用することができます。

モバイル用管理者アプリは、「Google Play」や「Apple App Store」から、"Alchera-ACS"を検索して、インストールします。

管理者アプリの詳細については、55ページ「10 管理者アプリの使用方法」を参照して下さい。

## 4.2 端末へのログイン

端末の初回使用時に電源を入れると、パスワード変更画面が表示されます。

任意のパスワード(数字4桁)を設定して下さい。設定後、通常のログイン画面へ移動します。

通常のログイン画面では、管理者ユーザー番号と上記で設定したパスワードを入力した後、[ログイン]ボタンをタップして下さい。

- 管理者ユーザー番号の初期設定値は、“0000”です。



参考

・ユーザー番号が“0000”であるアカウントは、

新しい管理者を作成した後であれば、削除することができます。

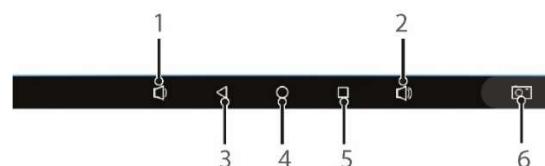
・初回管理者ユーザー番号と上記で設定したパスワードを入力すれば、次回端末起動時にログインする必要はありません。

また、ログイン前にパスワードを変更することもできます。パスワードの変更方法は、以下の通りです。

- ログイン画面で、[パスワード変更]ボタンをタップします。
- ユーザー番号とパスワードを入力します。
- 新しいパスワードを[パスワード変更]に入力して、[パスワードの確認入力]にもう一度入力します。
- [パスワード変更]ボタンをタップします。

## 4.3 ナビゲーションバーの使用方法

端末の画面下部を上へスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。



- 端末の音量を下げます。
- 端末の音量を上げます。
- 前の画面に戻ります。熱検知アプリ実行中にタップすると、アプリを終了できます。  
※通常は熱検知アプリを終了せずに製品を使用して下さい。
- 基本メニュー画面に移動します。

- 5 最近実行したアプリ一覧を表示します。
- 6 現在の画面のスクリーンショットを保存します。

## 4.4 热検知アプリの実行

端末の電源を入れると、热検知アプリが自動で実行されます。

自動でアプリが実行されない場合、またはアプリが終了していて手動で再度実行する場合の方法は、以下の通りです。

- 1 端末の画面下部を上へスワイプします。
- 2 ナビゲーションバーの  ボタンをタップします。
- 3 Applicationsメニューを選択します。



- 4 アプリ一覧で  [Alchera-ACS]をタップします。



## 4.5 表示言語の変更

端末の表示言語を変更する方法は、以下の通りです。

※変更するには熱検知アプリを終了してから設定をしてください。

- 1 端末の画面下部を上へスワイプします。
- 2 ナビゲーションバーの  ボタンをタップします。
- 3 Settingsメニューを選択します。



- 4 設定メニューで、[言語と入力] > [言語]を選択します。
- 5 変更する言語を選択します。

端末の電源を入れ直す、または熱検知アプリを再度実行すると、選択した言語が適用されます。



熱検知アプリが対応する言語は、日本語、韓国語、英語、  
参考 中国語、ベトナム語、ポーランド語です。

## 4.6 待機画面の種類

出入口運動状態及びネットワーク接続状態によって、端末の待機画面が変わります。

### コントロール

管理者の設定に基づいて、  
出入口が制御されます。



### 開放

すべての訪問者に、  
出入口が開放されます。  
(端末動作オフ)



### 閉鎖

すべての訪問者に、  
出入口が閉鎖されます。  
(端末動作オフ)



### ネットワークエラー

ネットワークが接続されていない場合は、  
次の通りに表示されます。



出入口運動設定の詳細については、

33ページ「6.5 ゲート/警告灯運動」を参照して下さい。

# 5 端末運用モードの概要

本端末は、顔認証モードと防疫モードをサポートしており、顔認証モードと防疫モードは同時に使用することができます。



端末運用モード設定の詳細については、31ページ「6.4 端末運用モード」を参照して下さい。

## 5.1 顔認証モード

ユーザーの顔写真を登録して、顔認証で入退を管理するモードです。

未登録者の入退を許可/禁止したり、登録者の入退権限をオン/オフすることができます。マスクを着用したまま顔認証が行えます。認証結果は音声と画面表示でお知らせします。

## 5.2 防疫モード

熱検知とマスク検知を行うモードです。熱検知とマスク検知は、個別に有効/無効に設定することができます。

- 熱検知モード：対象物の表面温度を測定します。  
設定した温度以上の熱が検出されると、音声と画面表示でお知らせします。  
さらに、3種類の中から警報音を選択して鳴らすこともできます。
- マスク検知モード：マスクの着用有無を検知します。  
マスク未着用の場合、音声と画面表示でマスクの着用を促します。  
さらに、3種類の中から警報音を選択して鳴らすこともできます。

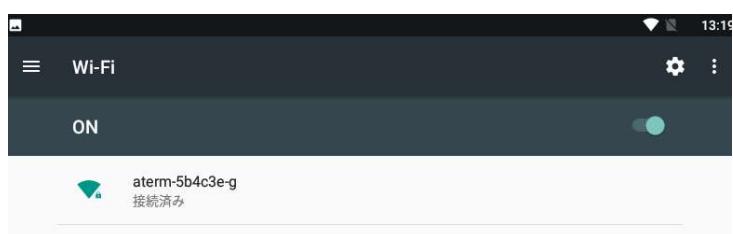
# 6 端末設定

## 6.1 ネットワーク接続

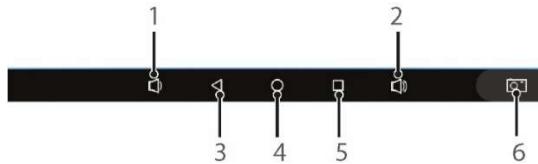
本端末と、端末を管理するPCまたはモバイル機器は、同一のローカルネットワークに接続する必要があります。

端末をWi-Fiを利用してネットワークに接続する方法は、以下の通りです。

- 1 Alchera-ACSの設定  をユーザー番号/パスワードを入力して開きます。
- 2 [端末設定]をタップします。
- 3 ネットワークの[変更]をタップします。
- 4 Wi-Fiを選択します。
- 5 接続する無線ネットワーク(SSID)を選択します。



- 6 パスワードを入力した後、接続ボタンをタップします。
- 7 画面下を上にスワイプしてナビゲーションバー表示させ、戻るボタン(下図の3)でネットワーク設定へ戻ってください。



**8** 画面右上の[完了]を押して設定内容を保存してください。



- ネットワークが接続された後、[端末設定]で「Alchera-ACS」のソフトウェアのバージョンが最新であることを確認して下さい。  
最新ではない場合は、ソフトウェアをアップデートして下さい。
- 「Alchera-ACS」のソフトウェアアップデートの詳細については、52ページ「8.7 ソフトウェア（Alchera-ACS）のアップデート」を参照して下さい。
- ネットワークの速度が遅い場合、アップデートボタンが表示されるまでに時間がかかることがあります。※有線LANの使用を推奨します。
- アクセス履歴などをブラウザで確認する場合、IPアドレスの情報が必要になります。DHCPでIPアドレスを取得した場合、端末本体の電源を切るたびにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスを固定したい場合は下記を「補足:静的IPアドレスの設定」を参照して設定を行って下さい。
- 端末及びPCを同じWi-Fiルーター（ポケットWi-Fiなど）に接続して、PCから端末の管理ページにアクセスするには、ルーター側で以下の設定が必要です。
  - ・DHCPサーバー機能：有効（但し、IPアドレス固定の場合は、下記「補足：静的IPアドレスの設定」を参照してください。）
  - ・プライバシーセパレータ：無効  
※プライバシーセパレータが有効になっていると、Web管理画面にアクセスできません。また、同一ネットワーク内で複数の端末を一元管理することができません。
  - ・Wi-Fi暗号化強化(PMF)：無効  
※PMFが有効になっていると本端末はWi-Fiに接続できません。ルーターの種類によりPMFを無効にできない、または有効のみで動作するルーターがありますのでご注意ください。

## 補足：静的IPアドレスの設定

端末本体と、端末本体を管理するPCまたはモバイル機器は、同一のローカルネットワークに接続する必要があります。

端末をWi-Fiを利用してネットワークに接続する方法は、以下の通りです。

- 1 Alchera-ACSの設定 をユーザー番号/パスワードを入力して開きます。
- 2 [端末設定]をタップします。

- 3 ネットワークの[変更]をタップします。
- 4 Wi-Fiを選択します。
- 5 接続する無線ネットワーク(SSID)を選択し[詳細設定項目]をタップします。



- 6 [DHCP]をタップして[静的]を選択します。

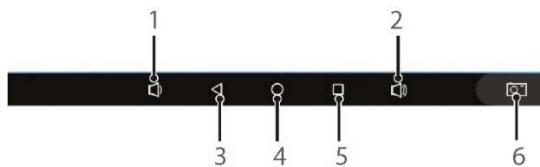


7 静的IPアドレス、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。



8 パスワードを入力した後、接続ボタンをタップします。

9 画面下を上にスワイプしてナビゲーションバー表示させ、戻るボタン(下図の3)でネットワーク設定へ戻ってください。



10 画面右上の[完了]を押して設定内容を保存してください。

## 6.2 設定メニュー

待機画面右側上段の  設定アイコンをタップすると、端末の動作に関するさまざまな設定を行うことができます。

設定メニュー画面は、以下の通りです。



## 6.3 端末設定

端末設定の方法は、以下の通りです。

**1** 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。



**2** 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。

**3** [設定]画面で、[端末設定]を選択します。

**4** 必要なオプションをオン/オフ、または入力します。

- 端末名：端末に任意の名前を付けることができます。
- ネットワーク：ネットワーク接続時、端末のIPアドレスが表示されます。  
ネットワーク接続に関する詳細については、25ページ「6.1 ネットワーク接続」を参照して下さい。
- 音声案内：端末の音声案内出力をオン/オフすることができます。  
また、[男性]または[女性]の音声に切り替えることができます。  
「近づいてください」の音声案内をミュートにする：端末から1m以上離れた状態で顔を検知した際に「もう少し、近づいてください」と音声案内がでますが、その音声案内をミュートする機能です。なお、このSWのON/OFFに関わらず、画面上は「近づいてください」と表示されます。

- 音量：端末の音声案内出力のボリュームをスライドバーで設定します。



- 警告LED表示：端末の状態表示LEDをオン/オフすることができます。
- 結果画面の表示時間：結果画面の表示時間を設定することができます。  
1秒単位で、1秒～10秒の間で設定できます。
- 保管期間：アクセス履歴を保管する期間を設定することができます。
- アクセス写真の保存：アクセス時に撮影されたユーザーの顔写真を保存する/しない、を設定することができます。
- 連動：複数台の端末（サブ端末）を1台の端末（メイン端末）に登録して、連動・管理することができます。詳細は47ページ「8.5 端末管理（端末の追加登録）」を参照してください。
- バックアップ&復元：ソフトウェア設定などのバックアップと復元を行います。  
詳細は、53ページ「8.8 バックアップおよび復元」を参照して下さい。
- リセット：端末の初期化を行います。  
詳細は、53ページ「8.9 初期化」を参照して下さい。
- ソフトウェアアップデート：端末のソフトウェアのアップデートを行います。  
詳細は、52ページ「8.7 ソフトウェア（Alchera-ACS）のアップデート」を参照して下さい。

**5** 画面右側上段の[完了]をタップします。

## 6.4 端末運用モード

端末運用モードの設定方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末運用モード]を選択します。
- 4 必要なオプションをオン/オフ、または入力します。
  - 顔認証モード：顔認証で入退を管理するモードです。
    - 生体検知：顔認証モードでの動作時に、写真でのなりすまし認証ができないように設定します。写真等で認証すると顔検出を行いますが認証できません。顔認証距離は0.3～1.0m、推奨0.5mです。  
※生体検知機能はなりすまし防止をお約束するものではありません。
  - 防疫モード：熱検知とマスク検知を行うモードです。

- 热検知：対象物の表面温度を測定します。
- クイック検知：温度測定精度は落ちますが、温度測定が速くなります。
- 温度単位：摂氏（°C）と華氏（°F）を選択できます。
- 热センサーイメージ：顔認証結果画面で、下段左側に、热センサーで測定された結果がイメージで表示されます。
- 热アラーム：[热検知温度]に設定した温度以上の热が検出されると、音声と画面表示で、正確な体温を測定するようにお知らせします。[热検知温度]は、36°C～42°Cまで設定できます。
- 警報音：热アラーム時の警報音をオン/オフできます。また、警報音がオンの場合、アラーム1～3の3種類の中から音の種類を選択できます。



- 測定された温度の補正：実際に測定された温度に、周辺環境による偏差を加えて補正します。偏差は[offset]で設定できます。なお、offsetを設定する場合、何名かの実際に測定された温度と、体温計等で測定した値を比較してoffset値を設定します。
- マスク検知：マスクの着用有無を検知します。マスク未着用の場合、音声と画面表示でマスクの着用を促します。
- 警報音：マスク未着用時の警報音をオン/オフできます。また、警報音がオンの場合、アラーム1～3の3種類の中から音の種類を選択できます。



## 5 画面右側上段の[完了]をタップします。



### 参考

- 顔認証モードを使用する場合は、ユーザーの顔登録が必要です。ユーザー登録の方法は、35ページ「7 ユーザー管理」を参照して下さい。
- 顔認証モードオフ状態で熱測定中は動かないでください。測定中に動くと、温度測定が不安定になることがあります。
- 周辺環境(冬期など)の影響で、実際より温度が低く検出されることがあります。
- マスクの色や柄、形状が、顔認証率とマスク検知率に影響を与える場合があります。

- offsetを加えた温度測定値が32℃～42℃の範囲を超える場合は、以下のエラーが表示されます。
  - 32℃以下の場合：「温度が異常に低く測定されています。一定時間経過後に再測定してください。」
  - 42℃以上の場合：「温度が異常に高く測定されています。一定時間経過後に再測定してください。」

## 6.5 ゲート/警告灯連動

ゲート/警告灯連動の設定方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[ゲート/警告灯連動]を選択します。
- 4 [出入口連動]ボタン、または[警告灯連動]ボタンをタップして、オンにします。
- 5 [出入口連動]の場合は、以下から使用するオプションをオンにします。
  - 未登録ユーザーコントロール：登録されたユーザーのみが入退できるようにします。登録されていないユーザーの顔が認識された場合、未登録ユーザー メッセージが画面に表示されます。  
※顔登録と同時に認証するデバイスへのアクセス権を設定しない場合、未登録ユーザーと判定されます。
  - 未登録ユーザー メッセージ：登録されていないユーザーの顔が認識された場合に画面に表示するメッセージを、設定することができます。
  - 熱アラーム時コントロール：設定した基準温度より高い温度が検出された場合に、入退を制御(禁止)することができます。基準温度は、[設定]>[端末運用モード]>[防疫モード]>[熱検知]のオプションをオンにして、「熱検知温度」で設定します。
  - マスク未着用時コントロール：マスクの着用状態を認識して、マスクを着用していない場合は、入退を制御(禁止)することができます。この機能を使用する場合は、[設定]>[端末運用モード]>[防疫モード]>[マスク検知]のオプションをオンにします。
  - 開放：上記の何れの入退制御も行わず、出入口を常に開放状態にします。顔認証や熱検知などの各種検知モードはOFFとなります。

- 閉鎖：上記の何れの入退制御も行わず、出入口を常に閉鎖状態にします。顔認証や熱検知などの各種検知モードはOFFとなります。

**6** [警告灯連動]の場合は、以下から使用するオプションをオンにします。

- 熱検知時のアラーム：設定した基準温度より高い温度が検出された場合に、警告灯を制御(点灯)することができます。
- マスク未着用時のアラーム：マスクの着用状態を認識して、マスクを着用していない場合は、警告灯を制御(点灯)することができます。

**7** 画面右側上段の[完了]をタップします。

# 7 ユーザー管理

## 【ユーザー登録時のご注意】

既に登録されている人物を他のユーザー番号で登録することはできません。また、正確に登録するためにマスク、帽子、サングラス等を外した状態で登録をして下さい。マスク、帽子、サングラス等をつけた状態で登録した場合、顔認証率が著しく低下します。

## 7.1 端末でのユーザー登録

端末でユーザーを登録する方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。



- 2 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[ユーザー管理]>[ユーザー登録/修正]を選択します。
- 4 登録/修正するユーザーのユーザー番号を入力します。
  - ユーザー番号は、最大10桁の数字です。
- 5 画面右側上段の[次へ]をタップします。
- 6 登録するユーザーの名前を入力します。
- 7 [フェースID]の横にある、[登録]または[変更]ボタンをタップします。
  - カメラのフレームに顔が認識されると、自動で顔写真が撮影されます。
  - 撮影した顔写真のプレビューが表示されるので[撮り直す]または[登録]をタップします。
- 8 任意でパスワードを設定できます。 パスワードを入力して[登録]または

[変更]ボタンをタップします。

- ・ パスワードは4桁です。数字のみ使用可能です。
- ・ パスワードを設定すると、ユーザーの顔が認識できなかった場合に、ユーザー番号とパスワードを入力して入退することができます。

**9** 画面右側上段の[完了]をタップします。



参考

- ・ ユーザーへの管理権限付与は、PCでのWEB接続またはモバイル用管理者アプリを使用して行います。
- ・ ユーザー登録をする際に、所属部署や役職などの組織情報も入力する場合は、43ページ「7.4 組織情報の設定」を参照して下さい。

## 7.2 PCでのユーザー登録

PCを利用してユーザーを登録する場合は、PCで端末の管理者ページに接続する必要があります。管理者ページに接続する方法の詳細については、45ページ「8.2 管理者ページへの接続」を参照して下さい。

### 個別登録

**1** 管理者ページで、[ユーザー管理]を選択します。

**2** 画面右側上段の[個別登録]ボタンを選択します。

The screenshot shows the 'User Management' section of the Alchera-ACS system. On the left, there are navigation icons for Home, User Management (highlighted with a red box), and Access Control. The main area displays a table of users with columns for No., ID.NO, User Name, and Management Rights. The table data is as follows:

No.	ID.NO	User Name	Management Rights
1	0000	Default	普通者
2	10001	山野太郎	一般ユーザー
3	10002	山野百合子	一般ユーザー
4	10003	今宿太郎	一般ユーザー
5	10004	今宿百合子	一般ユーザー

**3** 各項目に必要な情報を入力、またはオプションを選択します。

- ・ ユーザー番号とユーザー名は、必須入力項目です。
- ・ ユーザー番号は最大10桁です。数字のみ使用可能です。
- ・ 登録済のユーザー番号は、再登録することができません。

- 写真の登録は、ユーザー番号を入力した後に行うことができます。
- ※ 写真ファイルを使用して登録した場合、顔認識率に影響を及ぼす可能性があります。

<組織情報の設定を行っていない初期値の登録画面>

ユーザー情報入力

ID\_NO  
ユーザー名  
ユーザーパスワード  
管理権限  
端末アクセス登録

写真登録

キャンセル 追加

<予め組織情報の設定で任意の項目名に設定した登録画面例>

ユーザー情報入力

社員番号  
ユーザー名  
事業所  
部署  
役職  
雇用区分  
ユーザーパスワード  
管理権限  
端末アクセス登録

写真登録

キャンセル 追加

※「端末アクセス登録」の「端末リスト」から登録するユーザーがアクセスする端末を選択して下さい。選択しない場合、未登録ユーザーとして判定されます。

 **参考** ユーザー登録の際に、所属部署や役職などの組織情報も入力する場合は、43ページ「7.4 組織情報の設定」を参照して下さい。

## 一括登録

定型のエクセルファイルを利用して、ユーザーを一括で登録することができます。

ユーザーを一括登録する方法は、以下の通りです。

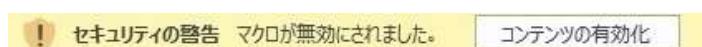
- 1 管理者ページで、[ユーザー管理]を選択します。
- 2 画面右側上段の[一括登録]ボタンを選択します。



- 3 [ZIPファイルダウンロード]をクリックし、ファイルをPCの任意の場所に保存します。
  - “GroupAddZip.zip” ファイルがダウンロードされます。
- 4 保存したzipファイルの圧縮を解除(すべて展開)します。
  - “userInfo.xlsx” ファイル と “pictures” フォルダ が展開されます。



- 5 “userInfo.xlsx” ファイルを開いた後、[セキュリティーの警告]メッセージの [コンテンツの有効化]をクリックします。顔写真の登録のために必要です。



- 6 xlsxファイルのフォーマットに従って、ユーザー情報を入力します。
  - ユーザー番号、名前、は必須の入力項目です。

7 ユーザーの【1】[顔写真]セルを選択した後に、【2】[選択欄に顔写真を挿入]ボタンをクリックします。写真を選択して【3】[OK]を押します。

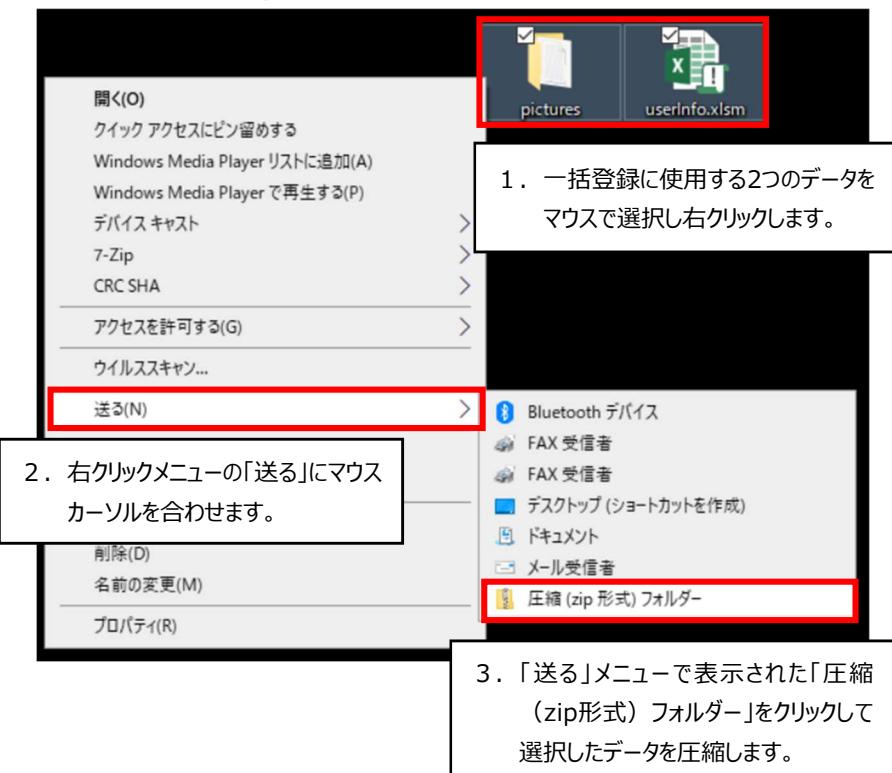


- 写真の大きさと品質は、顔認証結果に影響を及ぼすことがあります。推奨する写真の大きさは、証明写真(300 × 400 ピクセル)程度の大きさです。6ヶ月以内に撮影した写真での登録を推奨します。
- 画像編集ソフトなどで、特殊効果を過度に加えた写真を登録した場合、顔認証が正常に行われない場合があります。
- 写真を登録すると、“pictures” フォルダに写真がコピーされます。

8 ユーザー情報を入力後、“userInfo.xlsx” ファイルを上書き保存します。

9 “userInfo.xlsx” ファイルと “pictures” フォルダをマウスで選択し、右クリックから直接Zip形式で1つのファイルへ圧縮します。  
なお圧縮ファイル名に指定はありませんので、圧縮時に作成されたデータのまま一括登録いただけます。

(Windows10の例)

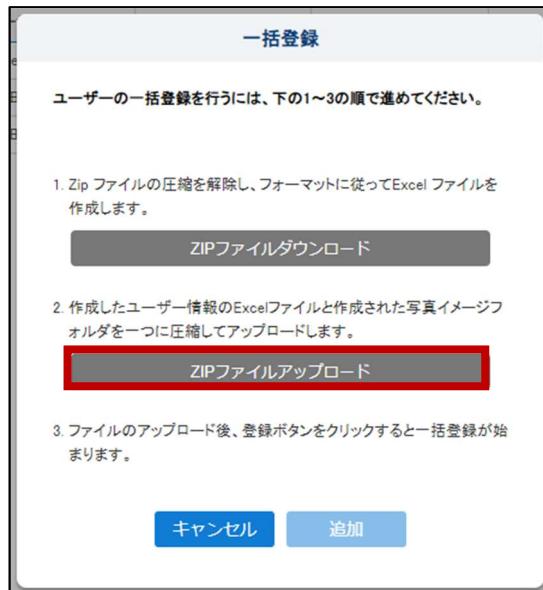


下記のように1つのフォルダに“userInfo.xlsm” ファイルと “pictures” フォルダをまとめてからフォルダを圧縮しても正常に一括登録することはできません。

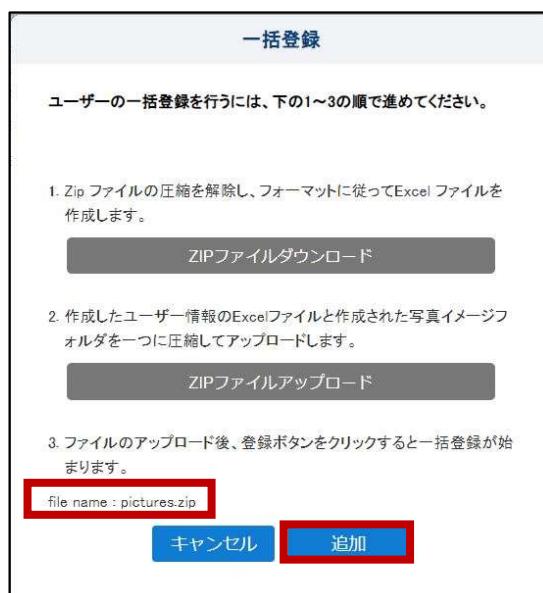
フォルダ/  
  └ userInfo.xlsm  
    └ pictures/  
        └ 写真1  
        └ 写真2  
        └ 写真3



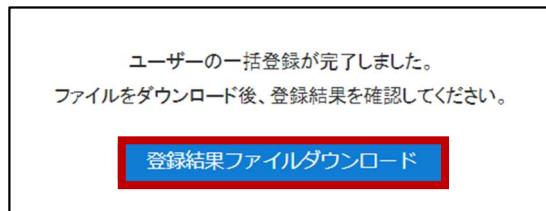
**10** [一括登録]の画面から[ZIPファイルアップロード]をクリックして、9で圧縮したzipファイルをアップロードします。



**11** アップロードするファイルを確認して[追加]をクリックします。



- zipファイルのアップロード完了後、登録結果をダウンロードすることができます。ダウンロードしたcsvファイルを開いて、登録結果を確認して下さい。



<登録結果ファイルの例> ファイル名 : UserAddResult\_日付.csv

No	ユーザー番号	名前	結果
1	10001	山田太郎	成功
2	10002	山田花子	失敗: Image Detect Failed : Registered user
3	10003	斎藤太郎	失敗: Image Detect Failed : Registered user
4	10004	斎藤花子	成功



参考

- 端末で写真撮影を行い、ユーザー登録をすることを推奨します。
- 一括登録、登録結果、アクセス履歴の各データを取り扱うためには、拡張子「xlsm」「csv」「xlsx」が利用できるアプリケーションが必要です。
- PCのメモリ容量などの環境により、一括登録用のファイルサイズが大きくなると、読み込むことができなくなったり動作が遅くなる場合があります。最大登録人数30000人を目標とした登録を推奨します。
- 「登録結果ファイルの例」では、2件「失敗」と表示されています。失敗理由は「登録済みユーザー」であるためです。予め登録済みのユーザーがいる場合、AIによる画像解析で登録済み画像と追加でアップロードした画像を比較して登録済みか否かを判断しています。

## 7.3 ユーザーの削除と修正

ユーザー情報を削除または修正する方法は、以下の通りです。

- 1** 管理者ページで、[ユーザー管理]を選択します。
- 2** ユーザーリストから、削除または修正するユーザーをクリックします。
- 3** ユーザー情報を修正する場合は、情報を修正した後に[修正]ボタンを選択します。  
ユーザー情報を削除する場合は、[削除]ボタンを選択します。



参考

- 端末でユーザー情報を修正する場合は、35ページ「7.1 端末でのユーザー登録」を参照して下さい。
- 端末単体では、ユーザー情報を削除できません。
- ユーザー番号が「0000」であるアカウントは、新しい管理者を作成した後であれば削除することができます。

## 7.4 組織情報の設定

ユーザー登録時にユーザーの所属情報を登録することができます。登録する場合は事前に登録したい項目（社名など）を設定する必要があります。

組織情報の設定方法は、以下の通りです。

- 1** 待機画面右側上段の 設定アイコンをタップします。

- 2** 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3** [設定]画面で、[ユーザー管理]>[組織マネジメント]を選択します。
- 4** 各項目に必要な情報を入力します。
  - [管理番号名]は、ユーザー番号の名称となります。設定することを推奨します。
- 5** 画面右側上段の[完了]をタップします。
  - 例として、[大分類名]に“事業所”、[中分類名]に“部署”、[小分類名]に“役職名”、[詳細分類名]に“雇用区分”、[管理番号名]に“社員番号”と入力した場合、ユーザー登録時には、社員番号と共に事業所名、部署名、役職、雇用区分を入力することができます。

43

[アクセス日]  
 [管理番号名] → 社員番号  
 [ユーザー名]  
 [大分類名] → 事業所  
 [中分類名] → 部署  
 [小分類名] → 役職  
 [詳細分類名] → 雇用区分  
 [端末名]  
 [アクセス方式]  
 [熱チェック]  
 [マスク着用状況]  
 [端末通過可否]



- [管理番号名]を設定することにより、[ユーザー番号]の名称をデフォルトの“ID\_NO”から変更することができます。

例：[管理番号名]を[社員No.]に設定した場合

ユーザー登録時の入力メニュー、アクセス履歴表示などにおける[ユーザー番号]の見出し項目が、“ID\_NO”から“社員No.”に変わります。

- 一卵性双生児や似ている兄弟姉妹など、端末本体によって同一人物として判定された場合は新規に登録することができません。この場合は、PCもしくはモバイル機器から「写真なし」、「パスワード設定」で登録できます。顔認証は利用できませんので、ユーザー番号と設定したパスワード入力で認証を行います。

# 8 端末の管理

## 【ネットワーク経由で端末を管理する際のご注意】

端末にアクセスするパソコンやスマートフォンと本端末は、必ず同一のローカルネットワーク（同一セグメント）に接続している必要があります。外部または異なるセグメントから端末へアクセスして管理することはできません。

## 8.1 端末のIPアドレスの確認

端末を遠隔で管理するためには、端末のIPアドレスの確認が必要です。

端末が接続しているローカルネットワークのIPアドレスを確認する方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。



- 2 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末設定]を選択します。
- 4 [ネットワーク]に表示されている、IPアドレスを確認します。

## 8.2 管理者ページへの接続

PCから管理者ページに接続する方法は、以下の通りです。

- 1 ウェブブラウザを開いて、アドレスウィンドウに、端末に割り当てられたIPアドレスとポート番号(5050)を入力した後、Enterキーを押します。

例：192.168.1.5:5050



2 管理者ログインページで端末のIPアドレス、管理者ID(管理者ユーザー番号)、  
パスワードを入力します。

3 [ログイン]を選択します。

## 8.3 管理者ページの使用方法

管理者ページに接続すると、以下5種類のメニューを利用することができます。



The screenshot shows the Manager Page interface. On the left, a sidebar lists five menu items with corresponding icons: [1] Home (house icon), [2] Device Management (key icon), [3] User Management (user icon), [4] Access Log (document icon), and [5] Access Summary (list icon). The main content area is divided into two main sections: '登録ユーザ数/端末数' (Registered User Count/Device Count) and '熱検知の通知領域' (Thermal Detection Notification Area). The '登録ユーザ数/端末数' section displays '現在の端末状況' (Current Device Status) with icons for '端末ユーザー情報' (Device User Information) and '端末情報' (Device Information), showing '9人' (9 users) and '1台' (1 device). The '熱検知の通知領域' section displays a table of '熱検知通知' (Thermal Detection Notifications) with columns: アクセス日 (Access Date), 社員番号 (Employee Number), ユーザー名 (User Name), 端末名 (Device Name), アクセス方式 (Access Method), 熱チェック (Thermal Check), マスク着用状況 (Mask Wearing Status), and 端末通過可否 (Device Passage Status). The table shows four entries for June 11, 2021, with various status details. Below these sections is a large table titled '全てのアクセス履歴をリアルタイムで記録・表示' (Record and Display All Access History in Real Time) with columns: アクセス日 (Access Date), 社員番号 (Employee Number), ユーザー名 (User Name), 端末名 (Device Name), アクセス方式 (Access Method), 熱チェック (Thermal Check), マスク着用状況 (Mask Wearing Status), and 端末通過可否 (Device Passage Status). The table lists numerous entries from June 14, 2021, with various status details.

【1】 ホーム：現在の端末状況、及びリアルタイムアクセス履歴などが確認できます。

【2】 端末管理：端末の追加と管理を行います。端末の追加方法の詳細については47ページ「8.5 端末管理（端末の追加登録）」を参照して下さい。

【3】 ユーザー管理：ユーザーの登録と管理を行います。ユーザー登録の詳細については、35ページ「7 ユーザー管理」を参照して下さい。

【4】 アクセス履歴：訪問者のアクセス履歴の確認と、履歴のファイル保存ができます。  
アクセス履歴の詳細については、51ページ「8.6 アクセス履歴の確認」を  
参照して下さい。

【5】 アクセス管理：ユーザー毎に、対象日における初回と最終のアクセス時間と、  
アクセスの合計回数を表示します。



参考 • 一括登録、登録結果、アクセス履歴の各データを取り扱うためには、拡張子「xlsm」「csv」「xlsx」が利用できるアプリケーションが必要です。

## 8.4 ホーム画面

現在の端末状況、及びリアルタイムアクセス履歴などが確認できます。

- 現在の端末状況：端末に登録されているユーザー数、及び連動して登録されている端末数を表示します。
- 熱検知通知：設定した温度以上の熱が検出されたアクセスに関する履歴を表示します。顔写真の保存を有効にしている場合、ユーザー登録の有無に関わらず顔写真の確認もできます。[文書を保存]により、履歴をダウンロード可能です。
- 端末リスト：登録済みの端末と、その関連情報を表示します。[詳細]ボタンをクリックすると、端末管理ページへ移動します。
- リアルタイムアクセス履歴：リアルタイムでアクセス履歴を表示します。履歴をクリックするとアクセス者の詳細情報を確認できます。顔写真の保存を有効にしている場合、ユーザー登録の有無に関わらず顔写真の確認もできます。[詳細]ボタンをクリックすると、アクセス履歴ページへ移動します。

〈熱検知通知・アクセス履歴で履歴をクリックして詳細を表示した例〉



## 8.5 端末管理（端末の追加登録）

複数台の端末(サブ端末)を1台の端末(メイン端末)に登録して、連動・管理することができます。端末を連携する操作により、ユーザー登録情報やアクセス履歴の保存方法に違いがあります。下図「端末連携操作と保存データの関連図」を参照してください。

端末を追加で登録する方法は、以下の通りです。

- 1 管理者ページで、[端末管理]を選択します。
- 2 画面右側上段の[追加]ボタンをクリックします。



### 3 各項目の情報を入力します。

IPアドレス	確認	IPアドレス
192.168.2.110	<input checked="" type="checkbox"/>	IPアドレス
2.00003	<input checked="" type="checkbox"/>	確認
端末名	<input type="text"/>	端末名
アクセス権限設定	<input type="text"/>	アクセス権限設定
運用状態	コントロール	運用状態
<input checked="" type="checkbox"/> コントロール 開放 <input type="checkbox"/> 閉鎖 <input type="checkbox"/> 警告灯		<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="追加"/>		

- IPアドレス：登録する端末のIPアドレスを入力した後、[確認]を選択します。同一ネットワーク内に登録するIPアドレスを持つ製品が接続されていて、追加する端末が「新規で追加する端末（メイン端末ではない）」ことが追加できる条件です。条件を満たす場合「登録可能な端末です。」と表示されます。

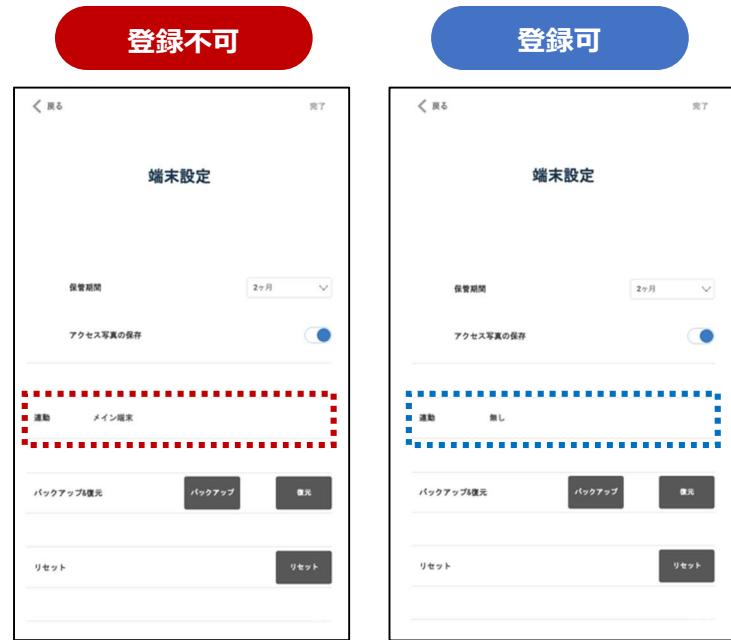
<Web管理画面の表示例>

IPアドレス	確認	IPアドレス
192.168.2.110	<input checked="" type="checkbox"/>	IPアドレス
2.00003	<input checked="" type="checkbox"/>	確認
端末名	<input type="text"/>	端末名
アクセス権限設定	<input type="text"/>	アクセス権限設定
運用状態	コントロール	運用状態
<input checked="" type="checkbox"/> コントロール 開放 <input type="checkbox"/> 閉鎖 <input type="checkbox"/> 警告灯		<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="追加"/>		登録可能な端末です。

端末が接続されていない場合やIPアドレスが誤っている場合は「無効IPです。」と表示されます。端末本体の管理画面から設定されているIPアドレスをご確認下さい。

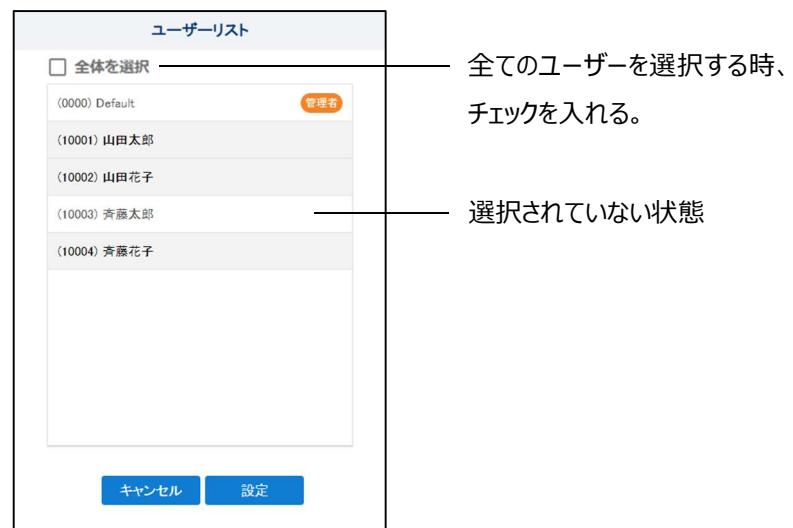
追加しようとする端末が既に「メイン端末」として設定されている場合は登録できません。アプリをリセットするとメイン端末としての登録を解除できます。

＜製品本体管理画面の表示例＞



- 端末名：端末に名前が設定されている場合は、自動で入力されます。
- アクセス権限設定：当該出入口を入退できるユーザー（顔認証を必要とするユーザー）をクリックして選択します。選択されているユーザーはグレイ色に変わります

＜アクセス権を与えるユーザーを選択する画面の例＞



- 運用状態：出入口の運用状態を選択します。初期設定値は[コントロール]です。運用に応じて該当する項目をクリックして選択して下さい。

4 [追加]ボタンをクリックします。



参考

- 追加登録される端末は、同一のローカルネットワークへ接続が必要です。
- 追加登録時、追加登録されるサブ端末内の既存のユーザー情報とアクセス履歴は削除され、メイン端末のユーザー情報が転送されます。

図：端末連携操作と保存データの関連図

	端末連携に関する操作内容	端末状態	ユーザー登録情報	アクセス履歴
①	連携(*1)	メイン端末	連携後、メイン端末およびサブ端末で新規に登録されたユーザー情報は、登録のない端末にコピーする。	各サブ端末の履歴をメイン端末にコピーする。
		サブ端末		
②	各端末運用途中に連携(*2)	メイン端末	メイン端末に登録されているユーザー情報のみサブ端末にコピーする。	連携後は、サブ端末の履歴をメイン端末にコピーする。
		サブ端末	連携時にサブ端末に登録されていたユーザー情報は全て削除されます。	連携時にサブ端末のアクセス履歴は全て削除されます。
③	各端末運用途中に連携解除： メイン端末、サブ端末両方の端末設定の運動から「接続切断」した場合	メイン端末	全てのユーザー情報が残る	メイン端末の履歴のみ残る
		サブ端末	全てのユーザー情報が残る	サブ端末の履歴のみ残る
④	各端末運用途中に連携解除： サブ端末のみ端末設定の運動から「接続切断」した場合	メイン端末	全てのユーザー情報が残る	メイン端末とサブ端末の履歴が残る
		サブ端末	全てのユーザー情報が残る	サブ端末の履歴のみ残る
⑤	各端末運用途中に連携解除： WEB 画面の端末管理からサブ端末を削除した場合	メイン端末	全てのユーザー情報が残る	メイン端末の履歴のみ残る
		サブ端末	全て削除される	全て削除される

\* 1 メイン端末とサブ端末が工場出荷時の状態(各端末にユーザー情報が登録されていない状態)からサブ端末追加機能で連携した場合。

\* 2 各端末でユーザー情報登録や履歴が記録された運用途中にサブ端末追加機能を使って連携した場合。

## 8.6 アクセス履歴の確認

訪問者の、訪問日時や通過可否状況などのアクセス履歴を確認することができます。

アクセス履歴の確認は、管理者ページから[アクセス履歴]を選択して下さい。また[ホーム]画面上でも、簡単なリアルタイムアクセス履歴の確認が可能で、[詳細]をクリックすると[アクセス履歴]ページへ移動できます。



The screenshot shows the 'Access History' page with a search bar at the top and a table of access logs below. The table includes columns for Access Date, Employee ID, Department, Name, Access Method, Mask Use Status, and Approval Status. A red arrow points from the search table to the following table:

検索項目名	検索方法やフィルタなど
ユーザー名	自由テキスト（部分一致）、登録ユーザー、未登録ユーザー
端末名	自由テキスト（部分一致）
アクセス方式	全て、顔認証、パスワード
端末通過可否	全て、通過可、通過不可
熱の有無	全て、熱検知
マスク着用状況	全て、着用、未着用
アクセス日	西暦-月-日-時（00-23）～西暦-月-日-時（00-23）

### アクセス履歴の保存

アクセス履歴を保存する方法は、以下の通りです。

- 管理者ページで、[アクセス履歴]を選択します。
- 必要に応じて、画面上段のフィルター機能を利用して保存対象の履歴を選別します。
- 画面右側上段の[文書保存]ボタンをクリックします。

選別されたアクセス履歴に関する情報が、エクセルファイル（.xlsx）でPCの任意の場所へ保存できます。

- デフォルトのデータ名は【アクセス履歴\_取得開始日時 - 取得終了日時】  
(例) アクセス履歴\_20210630 00 - 20210630 23.xlsx
- 顔認証時に顔写真を保存している場合は写真付きデータの取得可です。

Web管理画面から保存できる項目は以下の通りです。

項目名	説明	表示例
[アクセス日]	顔認証または熱検知で端末にアクセスした日時	2021-06-30 17:07:20
[管理番号名]	初期値は自動採番。社員番号など任意の項目名へ変更可能。	初期値 1、2、3、…
[ユーザー名]	登録するユーザーの名前	山田太郎
[大分類名]	事業所名、部署名、役職名など、任意の項目名へ変更可。	事業所名：東京営業所
[中分類名]	変更する場合は製品本体側で操作する必要があります。	部署名：商品開発部
[小分類名]	ユーザー登録情報と関連付けることができ、外部システムとデータ連携するために必要な項目として設定することができます。	役職名：課長
[詳細分類名]		雇用区分：派遣社員
[端末名]	任意の名前を設定可能。文字数制限は特になし。	東京営業所 正面玄関
[アクセス方式]	製品のアクセス方式（顔認証、防疫）を記録	顔認証 or パスワード
[熱チェック]	温度測定結果を記録	36.4
[マスク着用状況]	顔認証または温度測定時のマスク着用有無を記録	着用 or 未着用
[端末通過可否]	顔認証または温度測定の結果、通行可否を記録	通過可 or 通過不可

[管理番号][大分類名][中分類名][小分類名][詳細分類名]は、本体の管理画面から任意の項目名を設定できます。雇用形態など任意の項目名を登録するユーザー情報と関連付けておくことで勤怠管理などと連携するときに便利です。詳細は43ページ「7.4組織情報の設定」を参照して下さい。



参考 • 履歴の保存件数の参考値は以下の通りです。ストレージ容量に依存するためお客様の利用状況により変動します。

◆ 写真あり： 357,309件

※ログ保存期間を最大の2ヶ月で使用した場合、1日約6,000件のログが保存できます。

◆ 写真無し： 357,666,667件

## 8.7 ソフトウェア (Alchera-ACS) のアップデート

端末のソフトウェアに新規アップデートがある場合、

端末画面の 設定 アイコンに、赤の「N」マークが表示されます。

端末のソフトウェアをアップデートする方法は、以下の通りです。

1 待機画面右側上段の 設定アイコンをタップします。

2 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。

3 [設定]画面で、[端末設定]を選択します。

4 [アップデート]ボタンをタップします。



参考 • Wi-Fi接続でアップデートが上手く行かない場合は、LANケーブルを接続し、有線接続にてアップデートをして下さい。

## 8.8 バックアップおよび復元

「Alchera-ACS」のソフトウェア上で行った端末設定、登録済みのユーザー情報、およびアクセス履歴をバックアップ、または復元することができます。バックアップまたは復元する方法は、以下の通りです。

- 1** 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2** 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3** [設定]画面で、[端末設定]を選択します。
- 4** [バックアップ]ボタン、または[復元]ボタンをタップします。  
バックアップは「gate\_backup.zip」というデータ名で圧縮保存されます。



参考

- バックアップ/復元用データは、端末本体のメモリーに圧縮保存されます。
- バックアップ/復元時にUSBメモリーが接続されている場合は、自動でUSBメモリーを選択してバックアップと復元を行います。
- バックアップ時、以前のバックアップが存在する場合、上書きしてもよいか確認画面が表示されます。上書きをしない場合は[キャンセル]、上書きする場合は[確認]をタップします。
- USBメモリー使用時は、データの万一の消失に備えて、メモリー内のデータを他のストレージデバイスにコピーした後に実行することを推奨します。

## 8.9 初期化

「Alchera-ACS」で行った設定・保存した内容を初期化することができます。  
端末を初期化する方法は、以下の通りです。

- 1** 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2** 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 3** [設定]画面で、[端末設定]を選択します。
- 4** [リセット]ボタンをタップします。



参考

- 端末設定が初期化され、登録済みのユーザー情報とアクセス履歴が全て削除されるため、注意して下さい。
- Andorid™OSを初期化することを許可していません。万が一初期化した場合は、有償で本体の初期設定を行わなければなりません。十分注意をしてください。

## 9 パスワードによる入退

顔認証により出入口での入退を制御する際に、何かしらの理由で登録済みユーザーの認証ができなかった場合、または未登録ユーザーの入退を許可する場合は、パスワードを利用して入退することができます。この機能を使用するためには、出入口との連動を有効にし、未登録ユーザーコントロールのオプションをONにします。出入口連動設定の詳細については、33ページ「6.5 ゲート/警告灯連動」を参照して下さい。

パスワードを利用して入退する方法は、以下の通りです。

- 1 画面右側下段の [錠アイコン] をタップします。



- 2 [ユーザー番号]と[パスワード]を入力した後、[OK]をタップします。

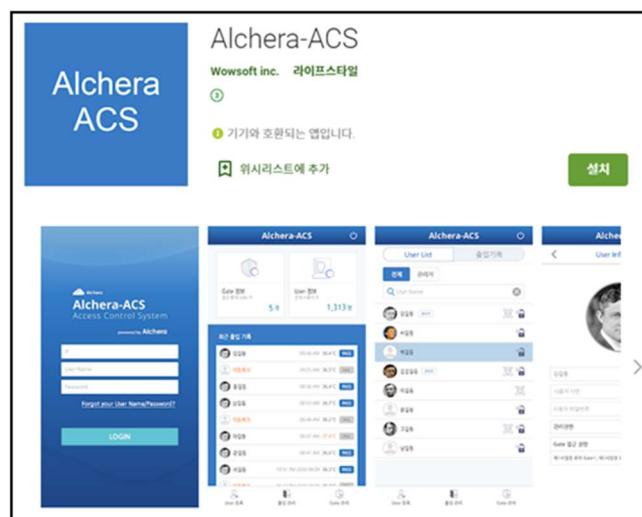
# 10 管理者アプリの使用方法

モバイル機器にアプリをインストールして、端末を管理することができます。

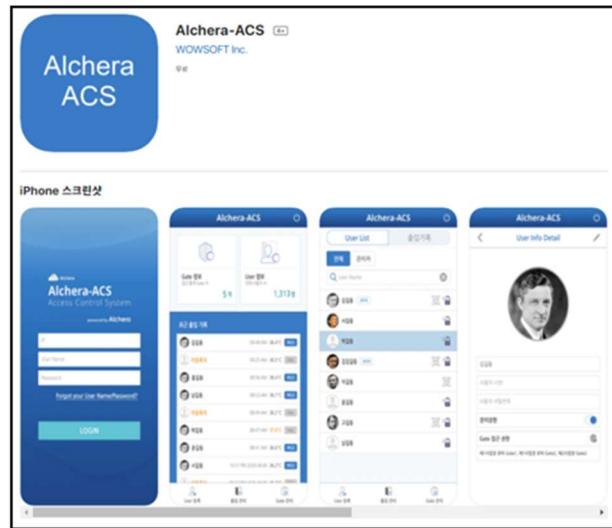
## 10.1 管理者アプリのインストール

「Google Play」や「Apple App Store」で、"Alchera-ACS"を検索してダウンロード、インストールすることができます。

Google Play 検索結果：



Apple App Store 検索結果：



## 10.2 ログイン

アプリをインストールした後、実行するとログイン画面が表示されます。

ログインの方法は、以下の通りです。

- 1** 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 2** ログインする端末のIPアドレスを入力します。
  - 端末のIPアドレスを確認する方法の詳細については、45ページ「8.1 端末のIPアドレスの確認」を参照して下さい。
- 3** [ログイン]をタップします。



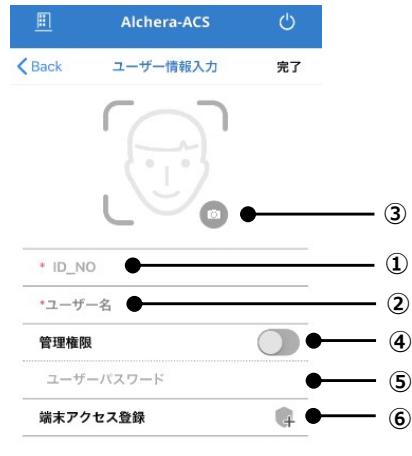
参考

- ユーザー番号が“0000”であるアカウントは、新しい管理者を作成した後であれば、削除することができます。
- 同一のローカルネットワーク内でのみ使用可能です。  
(イントラネット、社内ネットワークなど。)

## 10.3 ホーム画面の構成



- 1 ホーム画面へ移動します。
- 2 ログアウトします。
- 3 連動している端末の台数が表示されます。
- 4 登録されているユーザー数が表示されます。
- 5 直近のアクセス履歴が表示されます。
- 6 ユーザーを登録します。



- ① ID\_NO : ユーザー番号を登録します。
- ② ユーザー名 : ユーザー名を登録します。
- ③ 顔認証に使用する写真をスマートフォンで撮影します。
- ②ユーザー番号、③ユーザー名の入力をすると撮影が有効になります。

「カメラ」で撮影するか、「アルバム」から既に撮影済みの写真を選択するか、写真の登録方法を選びます。



- ④ 管理者権限のON・OFFを選択します。（デフォルトOFF）  
ONにした場合は次のユーザーパスワードの設定は必須となります。
- ⑤ ④で管理者権限をONにした場合のみ登録が必須となります。
- ⑥ 顔認証してアクセスする端末を選択します。



全ての入力が終わりましたらユーザー情報入力画面の「完了」を選択して登録します。



7 ユーザーごとに、対象日における、最初と最後のアクセス時刻と合計のアクセス回数を表示します。簡易的な入退室管理として利用可能です。

#### 【ユーザー管理の画面】

ユーザーを検索して登録情報を編集することができます。



ユーザー管理 アクセス履歴 アクセス管理

全体 ID\_NO

検索する名前を入力してください。  検索

 Default   No.0000	管理者 
 山田花子   No.0002	
 山田太郎   No.007248	管理者 

#### 【アクセス履歴の画面】

全体（一覧）、認証PASSなどフィルターで絞り込みができます。



ユーザー管理 アクセス履歴 アクセス管理

全体 PASS 登録ユーザー 未登録ユーザー 熱あ!

2021.05.28 00時 ~ 2021.05.28 23時

検索する名前を入力してください。  検索

 山田太郎 37.7°C FAIL アンケ… 第一工場正面玄関 2021-05-28 10:45:32
 山田太郎 37.9°C FAIL アンケ… 第一工場正面玄関 2021-05-28 10:45:29
 山田太郎 38.1°C FAIL アンケ… 第一工場正面玄関 2021-05-28 10:45:25
 未登録ユーザー 37.9°C PASS アンケ…

#### 【アクセス管理の画面】

最初と最後のアクセス時刻とアクセス回数を確認できます。



ユーザー管理 アクセス履歴 アクセス管理

全体 アクセス 未アクセス

2021.05.28 ~ 2021.05.28

検索する名前を入力してください。  検索

ユーザー名	初回アクセス日時	最終アクセス日時
Default	--	--
山田花子	--	--

8 端末の登録、管理をします。  
「+」を選択して端末追加へ進みます。



Back 端末追加 完了

*IPアドレス	確認	①
端末名		②
ユーザーアクセス権限	③	
ゲート連動状態		④
コントロール	<input type="checkbox"/>	
開放	<input type="checkbox"/>	
閉鎖	<input type="checkbox"/>	
警告灯	<input type="checkbox"/>	

① IPアドレス：追加登録する端末のIPアドレスを入力し「確認」を押します。  
検索の結果、登録可能な端末であるかどうか確認できます。

Back 端末追加 完了

*192.168.2.108	修正	
登録可能な端末です。		
端末名		
ユーザーアクセス権限	③	
ゲート連動状態	コントロール	
コントロール	<input checked="" type="checkbox"/>	④
開放	<input type="checkbox"/>	
閉鎖	<input type="checkbox"/>	
警告灯	<input type="checkbox"/>	

② 端末名：任意の名前を登録できます。

必須ではありませんが、複数台運用する場合は登録することをお勧めします。

Back 端末追加 完了

\*192.168.2.108 修正

登録可能な端末です。

第二工場正面玄関

ユーザーアクセス権限

ゲート連動状態 コントロール

コントロール	<input checked="" type="checkbox"/>
開放	<input type="checkbox"/>
閉鎖	<input type="checkbox"/>
警告灯	<input type="checkbox"/>

③ ユーザーアクセス権：追加端末へのアクセス権を予め設定することができます。

ユーザー追加「+」のアイコンを選択します。

Back 端末追加 完了

\*192.168.2.108 修正

登録可能な端末です。

第二工場正面玄関

ユーザーアクセス権限

ゲート連動状態 コントロール

コントロール	<input checked="" type="checkbox"/>
開放	<input type="checkbox"/>
閉鎖	<input type="checkbox"/>
警告灯	<input type="checkbox"/>

アクセス権を設定したいユーザーを選択して「完了」を選択します。

X ユーザーリスト 完了

Default 管理者		
山田花子		
山田太郎 管理者		

アクセス権を付与したユーザー数が表示されます。「確認」を押します。



④ ゲート連動状態：初期値は「コントロール」です。運用状態に合わせて選択をします。  
最後に端末追加画面の右上の完了を押します。



追加する端末（スレーブ端末）のユーザー登録情報は最初の端末（マスター端末）の情報で上書きされます。「確認」を押して端末追加を完了します。



## 10.4 端末の追加登録

連動する端末を追加登録する方法は、以下の通りです。端末を連携する操作により、ユーザー登録情報やアクセス履歴の保存方法に違いがあります。下図「端末連携操作と保存データの関連図」を参照してください。

- 1 [端末管理]をタップします。
- 2 右側上段の + をタップします。



- 3 各項目に情報を入力します。
  - IPアドレス：登録する端末のIPアドレスを入力した後、[確認]を選択します。
  - 端末名：端末に名前が設定されている場合、自動で入力されます。
  - ユーザーアクセス権限：当該出入口を入退できるユーザーを選択します。
  - ゲート連動状態：出入口の運用状態を選択します。初期設定値はコントロールが選択されています。運用状況によって出入口の運用状態を選択します。

- 4 [完了]をタップします。

図：端末連携操作と保存データの関連図

	端末連携に関する操作内容	端末状態	ユーザー登録情報	アクセス履歴
①	連携(*1)	メイン端末	連携後、メイン端末およびサブ端末で新規に登録されたユーザー情報は、登録のない端末にコピーする。	各サブ端末の履歴をメイン端末にコピーする。
		サブ端末		
②	各端末運用中に連携(*2)	メイン端末	メイン端末に登録されているユーザー情報のみサブ端末にコピーする。	連携後は、サブ端末の履歴をメイン端末にコピーする。
		サブ端末	連携時にサブ端末に登録されていたユーザー情報は全て削除されます。	連携時にサブ端末のアクセス履歴は全て削除されます。
③	各端末運用中に連携解除： メイン端末、サブ端末両方の端末設定の連動から「接続切断」した場合	メイン端末	全てのユーザー情報が残る	メイン端末の履歴のみ残る
		サブ端末	全てのユーザー情報が残る	サブ端末の履歴のみ残る
④	各端末運用中に連携解除： サブ端末のみ端末設定の連動から「接続切断」した場合	メイン端末	全てのユーザー情報が残る	メイン端末とサブ端末の履歴が残る
		サブ端末	全てのユーザー情報が残る	サブ端末の履歴のみ残る
⑤	各端末運用中に連携解除： WEB 画面の端末管理からサブ端末を削除した場合	メイン端末	全てのユーザー情報が残る	メイン端末の履歴のみ残る
		サブ端末	全て削除される	全て削除される

\* 1 メイン端末とサブ端末が工場出荷時の状態(各端末にユーザー情報が登録されていない状態)からサブ端末追加機能で連携した場合。

\* 2 各端末でユーザー情報登録や履歴が記録された運用中にサブ端末追加機能を使って連携した場合。

## 10.5 端末情報の修正および削除

端末の情報を修正または削除する方法は、以下の通りです。

- 1** [端末管理]をタップします。
- 2** 修正する端末を選択します。
- 3** 右側上段の  編集アイコンをタップします。



- 4** 各情報を修正後、右側上段の[完了]をタップします。
  - 端末を削除する場合は、[端末削除]をタップします。

## 10.6 ユーザー登録

ユーザー登録の方法は、以下の通りです。

- 1** ホーム画面で、[ユーザー登録]をタップします。
- 2** ユーザー番号、ユーザー名、ユーザーパスワードなどを入力した後、  
 カメラボタンをタップします。
- 3** カメラを選択して顔写真を撮影、またはアルバムを選択して保存済みの顔写真を選びます。
  - 写真の大きさと品質は、顔認証結果に影響を及ぼすことがあります。推奨する写真の大きさは、証明写真(300 × 400 ピクセル)程度の大きさです。6ヶ月以内に撮影した写真での登録を推奨します。
  - 選択した写真で顔認識ができない場合、写真の登録方法を選びなおすことができます。



- 端末で写真撮影を行い、ユーザー登録をすることを推奨します。

参考

### 【ユーザー登録時のご注意】

既に登録されている人物を他のユーザー番号で登録することはできません。また、正確に登録するためにマスク、帽子、サングラス等を外した状態で登録をして下さい。マスク、帽子、サングラス等をつけた状態で登録した場合、顔認証率が著しく低下します。

# 11 お取り扱い上の注意

## ■ 本製品を正しく安全に利用するために

- 本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。  
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。

## ■ 表示について

この「取り扱い上の注意」では以下のような表示（マーク）を使用して注意事項を説明しています。内容を理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは必ず実行していただく（強制）内容のこと意味します。

## 警告

万一、異常が発生したとき。



本体から異臭や煙が出た時は、ただちにUSBケーブル、ACアダプタを抜いて当社指定のサポート窓口にご相談ください。



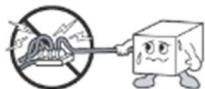
異物を入れないでください。

通気孔などから、金属類や燃えやすいものを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り、当社指定のサポート窓口にご相談ください。



分解しないでください。

本書の指示に従う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触ると危険です。



ACコードはなるべくコンセントに直接接続してください。

タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃のある所に置くと、落下や転落等からケガの原因になります。



付属のACアダプタ以外使用しないでください。

感電や火災、故障の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると、感電や火災、故障の原因となります。



電源プラグの接触不良やトラッキング。

ケーブル類は次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。・ケーブル類は根元までしっかりと差し込んでください。・ケーブル類はほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。



ケーブル類を大切に。

ACコードやUSBケーブルなどは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となります。「ものを載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束ねない」「熱器具のそばで使用しない」



雷が鳴るなど、電圧の状態が不安定なときには使用しないでください。データが消失したり、故障の原因となります。



装置の上に物を置かないでください。本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



指定された電源で使用してください。ACアダプタは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



揮発性液体の近くでの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って発火すると火災の原因になります。



ケーブル類の抜き差しには注意してください。

□ケーブル類を差し込むとき、または抜くときは必ずコネクタを持って行ってください。無理にケーブルを引っ張るとケーブル類の一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

□長期間ご使用にならないときは、ケーブルを抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。□ケーブル類を抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



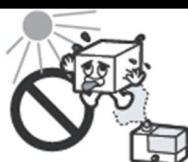
LCDパネルが破損した場合は割れたガラスでけがをしないように十分注意をしてください。また、LCDパネルが破損すると、内部の液体（液晶）がもれることがあります。このような場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないように十分ご注意ください。万一、眼や口に入った場合は、速やかに水ですすぎ、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、アルコールなどでふき取り、石鹼で水洗いしてください。そのまま放置すると皮膚や衣服を傷める可能性があります。



日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。

## 注意



高温・多湿の場所、長時間直射日光のある場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。



浴室・洗面台・台所の流し台・洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍や埃の多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。かぶつたりすると窒息の恐れがあります。



コネクタ等の接続端子に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足を引っかけるとケガや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



本製品の稼働中に接続ケーブルなどを抜かないでください。データの損失や機器の故障の原因になります。



ACコードについて本製品に添付されているACコードは本製品専用です。他の機器に利用しないようにしてください。



LCDパネルに圧力を加えないでください。表示異常の原因となったり、LCDパネルの破損につながります。LCDパネルの表面に硬いものをあてたり、こすったりしないでください。LCDパネルの傷や破損につながります。



本製品が汚れた場合

本製品が汚れた場合は必ず本体の電源を切ってから、柔らかい布で軽くふいてください。揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



同じ画面を長時間表示させると、残像が残ることがあります。使用しない場合は電源を切ってください。



液晶モニタは膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で少数のドットに欠落、変色、発光が見られることがあります。これはTFT液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。



地震対策について

地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展する恐れがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を専門業者にご相談いただき、実施してください。



布やじゅうたん、スポンジ、発砲スチロール、ダンボールなど、保温性や保湿性が高いものの近くで使用しないで下さい。火災の原因になります。



本製品の設置や角度調整時、ネジや工具を使用して固定が必要な時など、指などをはさまないように気を付けてください。



本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分ご注意ください。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

## 廃棄、譲渡時のデータ消失に関する注意

ご利用の製品を廃棄等される場合には、以下の事項にご注意ください。

端末本体を廃棄あるいは譲渡する際、記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。端末本体に記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」をおこなっただけではデータは消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを使うことにより、消失したはずのデータが再生されることがあります。

端末本体内部のデータが第三者に流出する事がないよう、全データ消去の対策をお願いいたします。また、端末本体上のソフトウェアを消去することなく譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾に抵触する場合がありますのでご注意ください。お客様のデータが漏洩することによる、いかなるトラブルも弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご承知おきください。

## 電波に関する注意事項

### 無線LAN接続時のセキュリティに関するご注意

#### お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です

本製品とiOS/Android 端末とは有線接続でつなぐ代わりに無線電波を利用して直接情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

##### ●通信内容を盗み見る

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード等、本製品間で通信しているデータ内容を盗み見る行為を行われてしまう可能性があります。

##### ●不正に侵入される

悪意がある第三者が無断で本製品を接続したiOS/Android 端末へアクセスし、共有フォルダ内の個人情報を取り出す（情報漏洩）等の行為を行われてしまう可能性があります。

本製品はこれらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますが、設定や運用方法によって上記に示した様な問題が発生する可能性があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、本製品をご使用の前に、必ずセキュリティに関する全ての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、本製品の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られる事もありますので、ご理解の上ご使用ください。セキュリティ設定などについては、お客様ご自身で対処できない場合は、ロジテックテクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

当社ではお客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を充分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

※セキュリティの設定を行わず、または本製品の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティ問題が発生してしまった場合、弊社では、これによって生じた一切の責任を負いかねます。

### ■電波に関する注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

使用周波数帯域 : 2.4GHz

変調方式 : DS-SS 方式、OFDM 方式

周波数変更の可否 : 全体域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能

## 免責事項

1. 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止しております。
2. 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求などにつきましては、弊社でいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
3. 本製品の仕様、デザインおよびマニュアルの内容については、製品改良のため予告なく変更する場合があります。
4. お客様にて接続された機器やインストールしたアプリケーションと本製品の動作を保証するものではありません。これにより誤動作・故障・障害などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。
5. 電源ボタンの操作方法以外の方法でOS・システムが破損した場合は保証対象外となります。
6. 本製品は壁や棚など設置するための付属品や取り付け金具を用意しています。取り付ける場所の安全の確保

はお客様の責任において実施いただくとともに、本製品及び付属品、関連製品の設置から生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。

7. 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込みなどは考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害などが発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
8. 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社でいかなる責任も負いかねます。また、弊社は海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

## 保証規定

弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または同等品への交換を致します。

### ■無償保証範囲

以下の場合には、保証対象外となります。

1. 本製品購入の際の証明書（レシート、納品書等/以下「購入証明」と表記）と、本製品をご提出頂けない場合。
2. 購入証明など販売店・購入年月日の記載あるものをご提示いただけない場合。
3. 購入証明に、偽造・改変などが認められた場合。
4. 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理が行われている場合。
5. 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
6. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、及びご注意に反するお取扱いによって生じた故障、破損の場合。
7. 通常で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
8. 本製品を購入頂いた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
9. 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
10. その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が認められた場合。

## 修理規定

- 修理のご依頼は、購入証明を本製品に添えてお買い上げの販売店にお持ち頂くか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付頂く場合の送料はお客様ご負担となります。また、ご送付頂く際、適切な梱包の上、紛失防止のため譲渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用下さい。尚、弊社では運送中の製品の破損及び紛失については一切の責任を負いかねます。
- 弊社修理センターへご送付頂く場合、必ず「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」「故障の状態」を書面にして本製品に添付して下さい。
- 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、及び修理限度額を明示の上、本製品に添付して下さい。
- ご送付頂く際の送付状控えは大切に保管下さい。

- 修理、もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させて頂く場合がございます。
- 有償・無償に関わらず、修理等により交換された本製品またはその部品等は返却致しかねます。
- 記録メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際にはデータの保全を行わず全て初期化致します。記録メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取って頂きますようお願い致します。
- 本規定における「故障」とは、本製品が本製品の仕様の定めるとおりに機能しないことをいいます。外観損傷（本製品の傷や破損）については、保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

## 12 サポート・修理窓口のご案内

### 個人情報の取り扱いについて

修理依頼、製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上、アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示は行いません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理しますのでご安心ください。

### サポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対する疑問点は、専用サポート窓口までお問い合わせください。

**TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034**

**受付時間： 10:00 ~ 19:00 (年中無休)**

### 修理センター窓口のご案内

郵送、宅配便にて修理を依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品を送付ください。

修理受付窓口（修理品送付先）

**〒396-0111長野県伊那市美すず8268番地1000**

**エレコムグループ修理センター（3番窓口）**

**TEL. 0265-74-1423 FAX. 0265-74-1403**

**受付時間： 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00**

**月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）**

- 必ず、修理依頼書に「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」「故障の状態」を書面に記述し製品と共に添付してください。修理依頼書は、Web サイトよりダウンロード可能です。また修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書がダウンロード出来ない場合には書面に記載の上添付してください。
- 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担です。
- 修理を依頼される場合は、保証書及び納品日が判別できる物（納品書のコピーなど）を製品に添付してください。
- 保証期間経過後の修理については、お見積りの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示の上、製品に添付してください。
- ご送付の際は、製品が梱包されていた箱、梱包材を使用しお送りください。
- お送りいただいた修理依頼書と運送会社のお問い合わせ番号等は必ずお手元にお控えください。

## データの取り扱いについて

万一、盗難等により端末本体内にあるお客様の個人情報および各種データが流出した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。大切なデータを管理するため、盗難防止など、必要な措置を講じておくようお願いいたします。端末本体および内部記憶装置は消耗品です。不適切な使用や電気的ノイズ、静電気による障害、強い衝撃、落雷などの天変地異により故障する場合があります。重要なデータは万一に備えて必ず他のメディアにバックアップを取っておくようお願いいたします。

不適切な使用や故障の結果生じたデータの直接的または間接的な損害については、弊社では一切の保証いたしません。本製品を使用した際のデータの消失については、いかなる運用形態にかかわらず、弊社では一切その責任を負いません。

- 本書の著作権は、ロジテック INA ソリューションズ株式会社が所有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載する事を禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、ロジテックテクニカルサポートセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物質または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft 社の登録商標です。
- Mac、Mac OS、Macintosh は、Apple Inc.の商標です。
- 「Android」、「Android ロゴ」は、Google LLC の登録商標です。
- その他、本書または関連文書に記載されている商品名、社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

## 付録A 製品仕様

主な製品仕様（全モデル共通）	
OS	Android™ 7.1.2（※）
システムメモリ	4GB
ストレージ	eMMC 16GB
ディスプレイ	8inch / 1280 x 800px タッチパネル
カメラ	RGB Camera(2MP)/IR Camera with LED(2MP)
Wi-Fi	IEEE802.11 b/g/n (2.4GHz)
Bluetooth	4.1
Ethernet	10 BASE-T/100 BASE-T 1個
I/F	USB2.0ポート1個, サポートフォーマットFAT32/NTFS
その他I/F	Relay出力 (RS-232C及びWiegandはサポート不可)
電源	AC12V/2A
温度測定距離	0.3m ~ 1m (推奨距離 0.5m)
温度測定範囲	32 ~ 42°C
温度測定誤差	± 0.3°C
顔認証時間	1秒以下 (最短0.2秒)
顔認証距離	0.3m ~ 1m (推奨距離 0.5m)
登録可能人数	最大30,000人
動作温湿度	5°C~35°C (温度測定時に推奨する周囲温度25°C/湿度60%) /0% ~90% (ただし、結露無きこと)
入力電圧	AC12V/2A
消費電力	12W (Typical)
サイズ (W×D×H)	フロアスタンドモデル340×340×1145~1540mm テーブルスタンドモデル 300×290×405mm
重さ	フロアスタンドモデル 約7.8kg テーブルスタンドモデル 約3.4kg

※ 本製品は Google Play に対応しておりません。

※ OS のバージョンは固定となります。

※ 顔認証およびサーマルカメラ以外の用途はサポート対象外となります。

保証期間	1年間
※レシートや納品書など購入証明書は、ご購入日を証明する書類となりますので保証規定と併せて大切に保管願います。保証規定、修理規定、ご使用上の注意は本書に記載しています。	

## 付録B 製品サイズ

	重さ	大きさ (W x H x D)
端末本体(支柱含む)	1.7 kg	130 mm x 369 mm x 89 mm
テーブルスタンド	1.7 kg	300 mm x 55 mm x 290 mm
高さ調整スタンド	2.8 kg	最小 100 mm x 745 mm x 100 mm 最大 100 mm x 1140 mm x 100 mm
高さ調整スタンド台	3.3 kg	340 mm x 50 mm x 340 mm

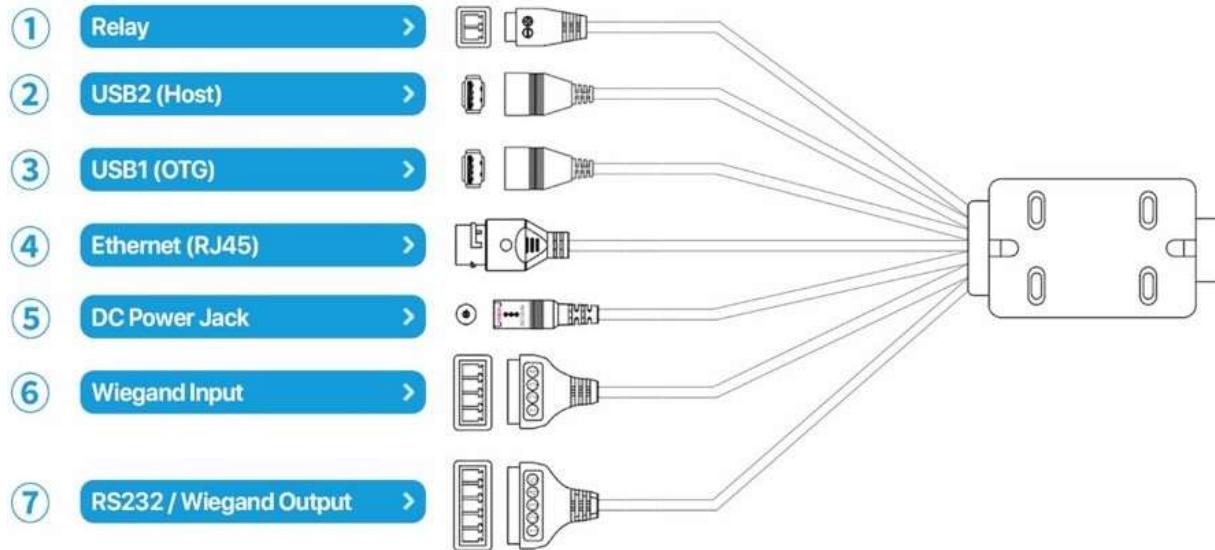
床置タイプ(高さ調整スタンド + 高さ調整スタンド台)



## テーブルタイプ



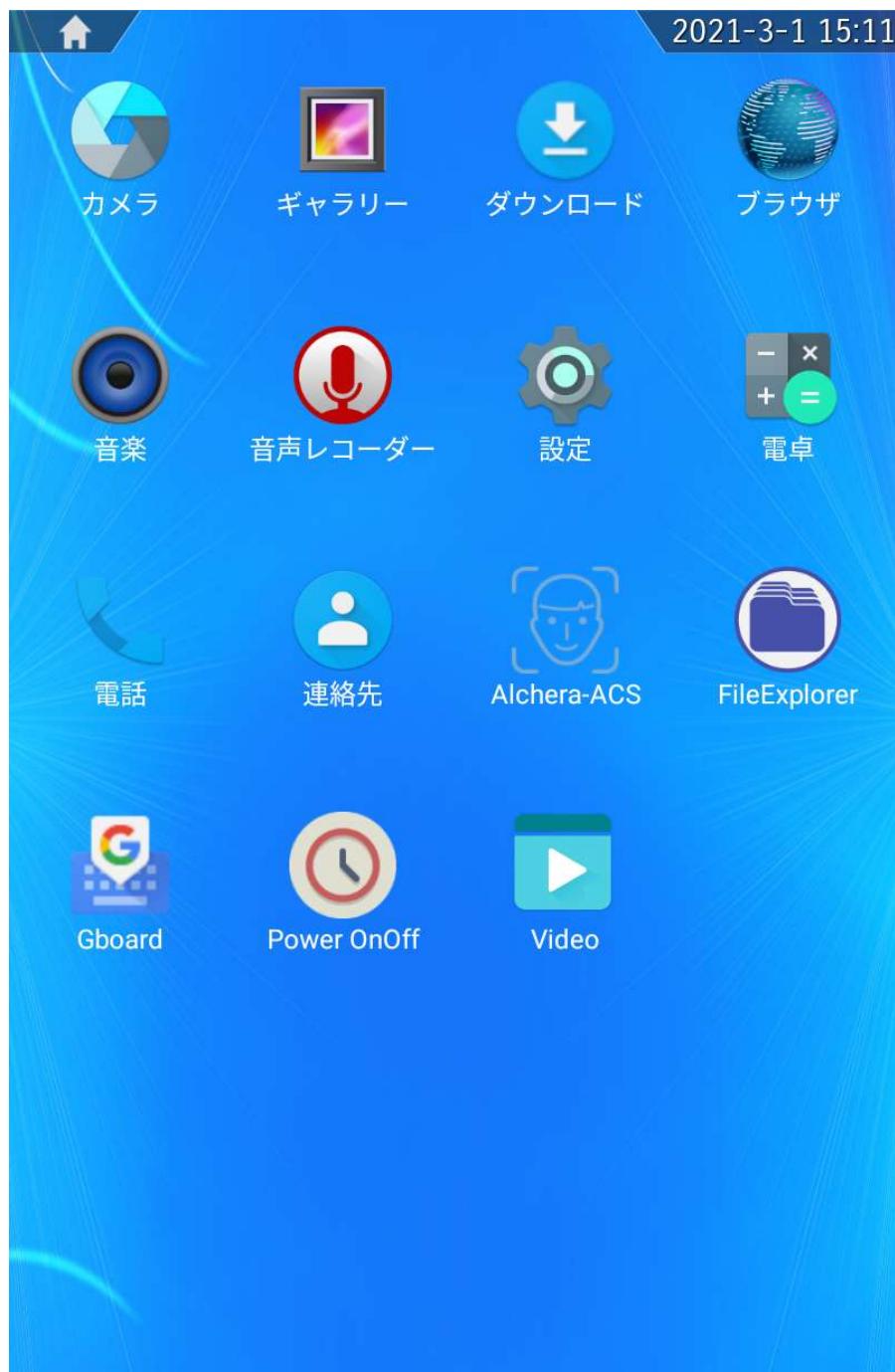
## 付録C ケーブル・ポート



No.	名称及び用途	信号仕様
①	Relayスイッチ出力 (ドアロックのON/OFF、警告灯点灯、など)	①+NO1 ②-COM1
②	USB HOST(PC接続、など) *	①+5V ②DATA+ ③DATA- ④GND
③	USB OTG(USBメモリ、マウス接続など)	①+5V ②DATA+ ③DATA- ④GND
④	イーサネット (有線LAN接続、ネットワーク通信用)	①CTS ②DTR ③TXD ④SGND ⑤SGND ⑥RXD ⑦DSR ⑧RTS
⑤	DC電源入力	①12V ②GND
⑥	Wiegand入力(外部ハードウェア接続用) *	①12V ②GND ③WG-D1 ④WG-D0
⑦	RS232/Wiegand出力(外部ハードウェア接続用) *	①RX ②TX ③WG-D1 ④WG-D0 ⑤GND

\* : 将來の機能拡張用であり、現状は未サポートです。

## 付録D プリインストールアプリ一覧



※Andorid™タブレットとしてのご利用、お客様で追加したアプリケーション、プリインストールされた Alchera-ACS 以外のアプリケーションは製品保証およびテクニカルサポートの対象外となります。